電波掛時計 取扱説明書 (HD1688 RC step-z 共通)

HD-1688 RCstep-z-2604

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
●本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 （改良のため予告なく変更する場合があります）

■時　間　精　度：平均月差 ±30 秒以内（気温 25℃で使用した場合）
※電波時計による時刻修正を行わない場合
※指針（針の位置）誤差
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合がありますが、故障ではありませんのでそのままお使い下さい。
秒針：± 1 目盛以内、時・分針：±1/2 目盛以内
■使 用 温 度 範 囲：0 ～ +50℃ ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
■使 用 推 奨 電 池：単 3 形アルカリ乾電池（LR6 1.5V） 1 個
■電　池　寿　命：約 12 ヵ月（単 3 形アルカリ乾電池 1 個使用の場合）
■電　波　受　信：40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し、現在時刻に合わせる
●自動受信　最多 6 回 / 1 日
（1:00/3:00/5:00/13:00/17:00/21:00)
●手動受信
■夜間秒針停止機能：午後 10 時 0 分～午前 6 時 0 分の間は、秒針のみ 12 時位置で停止
※直射日光や強い光が長時間本体に当たると、部材の変形、変色、劣化の原因になります。

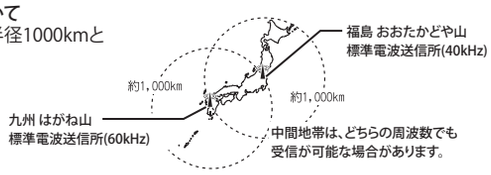
電波時計について

電波時計とは
標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは
情報通信研究機構（NICT)が運用している時刻情報をのせた電波で、国内 2 か所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に 1 秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信停止について
標準電波は毎時15分と45分から各 1 分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波（送信停止）することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧下さい。

電波の受信範囲について
送信所からおおむね半径1000kmとされています。



日本国外でのご使用について
本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
●工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
●ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
●鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
●自動車、電車、飛行機などの中
●家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
●スチール机などの金属製家具の上や近く
●朝・夕の時間帯や雨天のとき
※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作を行い使用する場所を変更してご使用下さい。
本書 **リセット操作について** を参照して下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。

情報通信研究機構 ホームページアドレス https ://jjy.nict.go.jp

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合や、電波障害により一時的に誤表示している場合は、**RESETボタン**を押して下さい。設定されている内容がお使い始めの状態に戻ります。針が早回りして12時位置で停止し、再度電波受信状態となります。
※**RESETボタン**は、先の細い尖っていない棒などで押して下さい。針などの鋭利なものを使用するとボタンが破損しますのでご注意下さい。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このような場合、リセット操作をして下さい。

故障かな?と思ったときには…

※製品が正常に作動していないときは、修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

針がぐるぐる回る

考えられる原因	処 置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
電池を入れた直後の電波受信の準備中	そのままお待ち下さい。 早回りしている針は正午(12時位置)で一旦停止します。電波を受信すると、自動的に針を現在時刻に合わせます。 **※その間ボタン操作はしないで下さい。**
時刻修正中	そのままお待ち下さい。 電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。 電波受信に失敗した場合、12時から通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。 本書 **電波受信ができなかった場合** を参照して下さい。

時分針が早回りした後、動かない

考えられる原因	処 置
電波の受信中	そのままお待ち下さい。 **※その間ボタン操作はしないで下さい。**
電池容量が無い または容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。

秒針が止まって動かない

考えられる原因	処 置
夜間秒針停止中	そのままお待ち下さい。 ※内蔵プログラムにより、午後10時 0 分から午前 6 時 0 分までの間、秒針が12時位置で停止します。 ※手動設定時に午前/午後を間違えて設定すると、日中に夜間秒針停止機能が作動してしまいます。 ※本製品は、秒針位置の誤差を自動で修正します。
午前/午後を間違えて設定している（手動設定時）	
針がぐるぐる回った直後の電波受信中	
秒針位置の自動補正中	

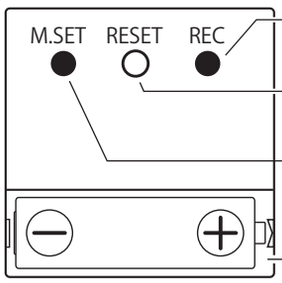
時計が動かない

考えられる原因	処 置
電池容量が無い	電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで入っていない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて、電池を入れ直して下さい。

時計が現在時刻に合わない

考えられる原因	処 置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
標準電波の送信停止	本書 **電波時計について** を参照して下さい。
電波障害による一時的な誤表示	リセット操作をして下さい。 本書 **電波時計について** の **電波を受信しにくい環境** と **リセット操作について** を参照して下さい。

各部の名称



本体裏面拡大図

■RECボタン
手動受信するときに使用します。

■RESETボタン
リセットするときに使用します。

■M.SETボタン
電波を受信できないときなど手動で時刻を合わせるときに使用します。

■電池ホルダ
※単３形アルカリ乾電池を⊕⊖の表示に合わせて入れて下さい。

※電池を入れるときは⊕側から入れて下さい。
※電池を外すときは⊕側から外して下さい。

ご使用方法

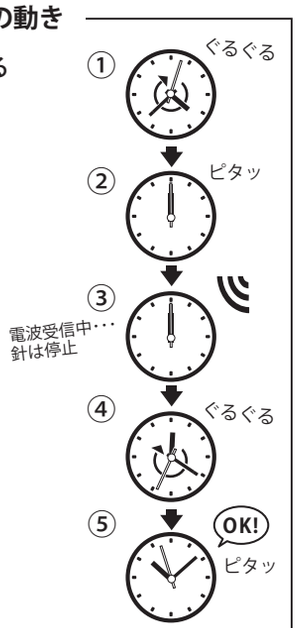
1.電池を入れて下さい（単３形アルカリ乾電池 × １個）
電池を電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れて下さい。

時計が自動で現在時刻に合うまで、そのままお待ち下さい。
最長約 25 分かかります

電池挿入後の針の動き

最長約25分

①電池挿入後、針が回り始める
↓
②針が 12 時で停止
↓
③電波受信開始
※電波受信中は針が停止したままになります
↓
④受信が完了し、針が回りだす
↓
⑤針が現在時刻に合う



2.時計を掛けて下さい
本書 時計の掛け方について と 電波時計について を参照して下さい。

※電波を受信できなかった場合

時刻を修正せず、針は正午（12時位置）より通常の運針を始めます。
→ 電波受信ができなかった場合 の手順を参考にして時刻を合わせて下さい。

電波受信ができなかった場合

■一昼夜そのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一昼夜そのままにしておくと、受信できる可能性が高くなります。

注意
電波受信中は、ボタン操作はできません。
※電波受信中とは、受信のための時分秒針の運針中または停止中のことです。

■設置場所を変え、手動で電波を受信させる

①電波を受信しやすい場所（窓際など）に移動します。

②RECボタンを秒針が早回りを始めるまで押し続けて下さい。
３針が早回りをして正午（12時位置）で一旦停止し、電波受信を開始します。
※受信に成功すると３針が早回りして、針を現在時刻に合わせます。
※失敗した場合は、時刻を修正せず、３針が止まっていた位置から動きだします。

■手動で時刻を設定する

①M.SETボタンを秒針が早回りを始めるまで押し続けて下さい。
針が12時位置で停止し、手動で時刻が設定できる状態になります。
※30秒以上操作をしないと通常運針を始めます。

②秒針が停止中にM.SETボタンを押して時刻を合わせます。
１回押すごとに分針が１分ずつ進みます。ボタンを押し続けると早回りをし、放すと停止します。
※お使い始めの電波受信中の針は、正午(12時位置)で停止します。
設定したい時刻が午前の場合は、時・分針を12時間以上進めてから現在時刻に合わせて下さい。

③手動設定が終了したら、RECボタンを押して下さい。
設定が完了して秒針が動きだします。
※手動で時刻を設定した場合、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

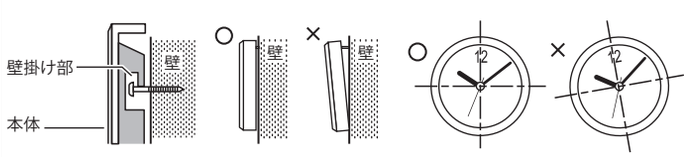
時計の掛け方について

⚠ 注意　掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。



- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。

※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



＜正しい掛け方＞　＜横から見た場合＞　＜正面から見た場合＞

夜間秒針停止機能について

本製品は内蔵プログラムにより、午後10時０分から午前６時０分までの間は、秒針のみ12時位置で停止します。
※夜間秒針停止中であっても、自動受信のときは、秒針が動くことがあります。また時・分針も通常運針以外の動きをする場合がありますが故障ではありません。
※夜間秒針停止機能の解除、停止時間帯の時刻設定はできません。

電池の交換について

電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。自動電波受信のときは、針がぐるぐる回ります。このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。
※製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に、定期的に電池を交換して下さい。